

共立女子大学 家政学部 建築・デザイン学科 主催

中学生・高校生・大学生対象デザインコンペ

第4回

わたしtoデザイン

テーマ 「夏の、」

「わたし to デザイン」の最終審査会が10月18日に開催されました。

受賞作品とコメント、全応募作品を掲載します。

【最優秀賞】

共立女子大学 1年 長嶋 真奈美さん



審査員コメント

インスタを切り取ったような夏の空を集めた作品なのでしょうか。

空と雲に時々重なる郊外を感じさせる風景がノスタルジックで、夏の、というよりも秋に向かっていく夏を感じさせ、とてもよいと思います。

【優秀賞】

千葉県立検見川高等学校 石島 さや夏さん



審査員コメント

第一印象で気に入り、票を投じました。ソフトクリームに乗せるトッピングはクッキーかな? 国宝に指定されている土偶のスターばかりで良いアイデアですね。イラストのタッチも配色もいい味が出ていて、とても楽しく美味しそうです! 素晴らしい提案になっています。欲を言えば書体がもう少し丁寧だと、イラストのタッチが更に生きたと思います。ぜひ具現化しましょう。

共立女子大学 1年 齋藤 日菜子さん



審査員コメント

とても丁寧に切り絵作品が出来ていて好印象です。特にヨーヨーの柄が手描きの絵に切り絵を被せるテクニックが素晴らしいです。画面構成にもう少し工夫があれば更に良くなったでしょう。モチモチの木で有名な滝平二郎は知っていると思いますが、彼の作品は画面構成が飽きさせない魅力になっています。例えばヨーヨーの入っている桶を上から見るなどアングルを変えるだけで大きく変化しますね。

【優秀賞】

共立女子大学 1年 光延 さとりさん



審査員コメント

共に夏の風物詩とも言える傘と朝顔のコラボはとても共感できます。あえて朝顔も紺一色で表現したストイックさは作品として理解できます。ただ朝顔は色の違いがあります。一輪でも良いので明るい色を入れるなどすると爽やかさが出たのではないかと思います。でもとても良い作品です。

共立女子大学 1年 税所 心暖さん

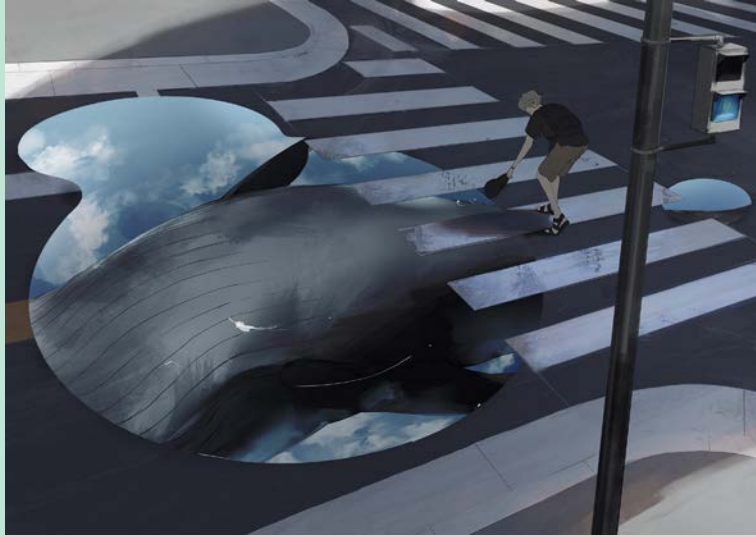


審査員コメント

かき氷を中心に、夏に関連したものをちりばめた表現は面白いと思います。ただ、それぞれの関係がわかりにくいので、たとえば、かき氷を通して遠くの花火が見えている、といった表現等もあつたらよりいいかもしれません。

【優秀賞】

共立女子大学 1年 劉 碧虹さん



審査員コメント

雨上がりの水たまりに夏の雲とクジラ、ファンタスティックな表現がとても良いと感じました。これはひとつの意見ですが、もう少し空を明るくすると周りとの対比でもっと夏の輝きを感じたような気がします。

【佳作】

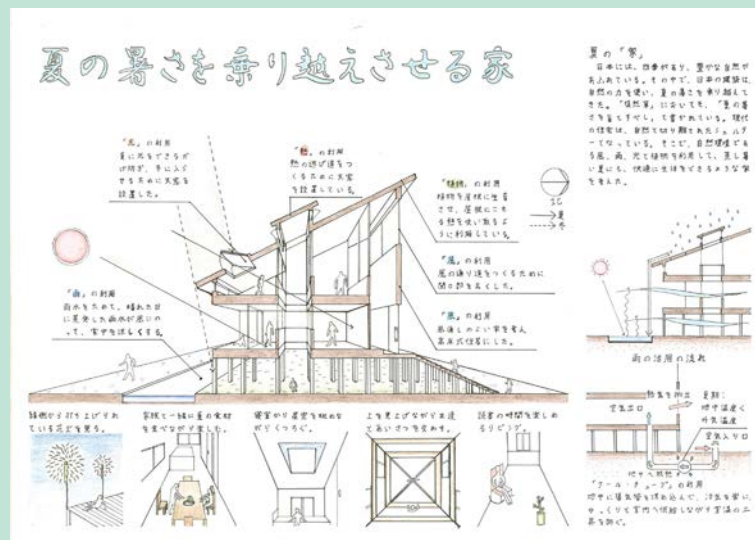
福島県立いわき光洋高等学校 大泉茉央さん



審査員コメント

リップケースに夏をイメージしたスイカやアイスなどのカラフルな模様がデザインされ、女性らしいアイデアが詰まった作品です。ただ、作品を見ただけだとリップケースとは分かりづらく、また、一つ一つのケースがのっぺりした平面的な印象に見えます。デッサンを練習してみてください。

静岡県立浜松工業高等学校 サバレタ・サイタロさん



審査員コメント

とても完成度の高い作品です。全体計画と各部詳細の計画とがとてもバランスよくまとめられています。すぐにでも実現可能なほどリアリティがありますね。全体を説明するのに断面パースを用いたことも良かったと思います。

【佳作】

共立女子大学 1年 熊倉楓乃さん



審査員コメント

「夏」という文字を大胆に構成しました。
コラージュされたひとつひとつの写真から、溢れ出るエネルギーを感じてしまいました。
「夏」の文字が「囟」だとして、バック＝「地」の部分は白の表現でよかったのでしょうか。
「囟」と「地」が対応して「夏」の文字をより引き立てる表現もあるかと思います。

共立女子大学 1年 滝本佳子さん



審査員コメント

暑い夏の日の冷たい氷の表現がうまく出ていると思います。
できればもう1ポイント表現に夏を感じさせるものが加わっていればよかったと思います。

【佳作】

共立女子大学 1年 松木愛花さん

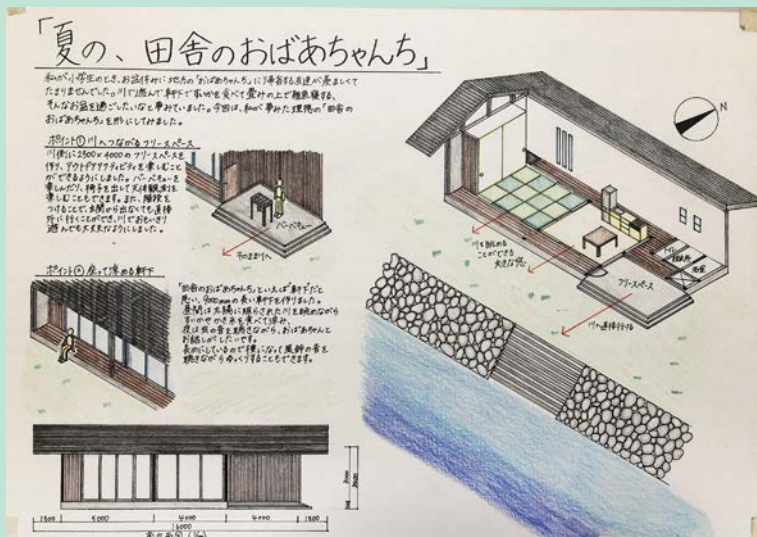


審査員コメント

小さい頃の夏の思い出といえば線香花火です。
夏のというテーマに対して線香花火のアイデアはgoodです。
線香花火は火が飛び散る飛び散る姿とそれが徐々にしぼんでいく姿が印象的です。
はなさかさと儂さの同居です。中心の複数案もとても良いですが
アイテムを一つに絞ってはなやかさと儂さを表現したら
もっと夏らしさを感じたと思います。でも爽やかでとても良い作品です。

【個人賞】

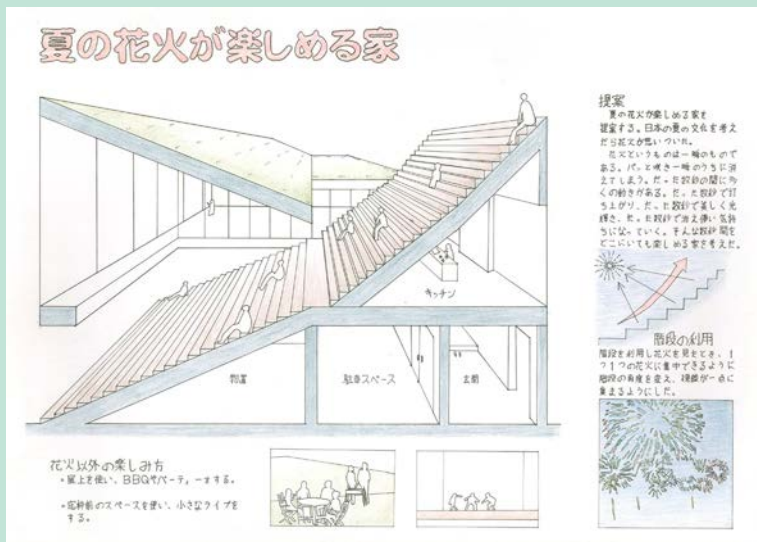
堀賞
共立女子大学 1年 武市菜々葉さん



審査員コメント

自分の理想の「夏の、田舎のおばあちゃんち」ということで、軒下など外とつながりを持ったスペースに着目したのが良いですね。川との関係だけでなく、庭の植栽もあると木陰や目隠しの要素もあって素敵なおばあちゃんちになりそうです。

松本賞
静岡県立浜松工業高等学校 杉山健吾さん



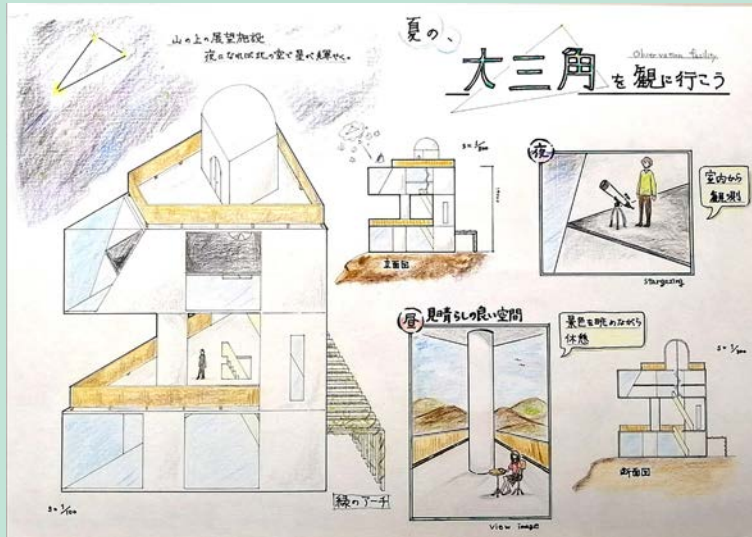
審査員コメント

夏の花火を見る施設としてこのような観覧席があるといいですね。この観覧席の花火以外の使い方がもっと提案されていればよかったと思います。また、芝生の屋上はフラットの方が花火の鑑賞にも便利なのではないでしょうか。

【個人賞】

高橋賞

共立女子大学 1年 籠宮明日香さん

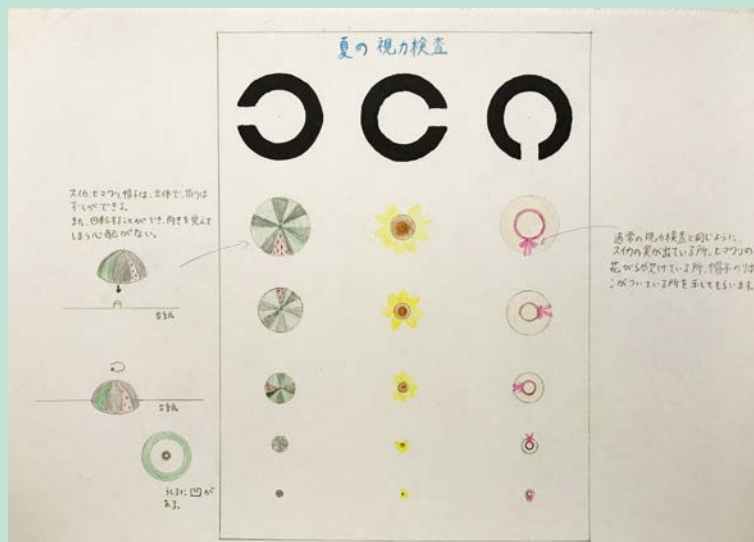


審査員コメント

夏の大きな三角形をモチーフにした建築表現が良いですね。それぞれの階での空との関わりも良く考えられていて、その状況のパースも表現されている事から臨場感を感じる事ができ、とても好感がもてます。もっと星空を大きく楽しむために、三角形の平面を持ちながら垂直の壁ではなく三角錐のように壁面が斜めになる事で空を大きく見る事が可能になると思いました。

藤本賞

共立女子大学 1年 吉村知理さん



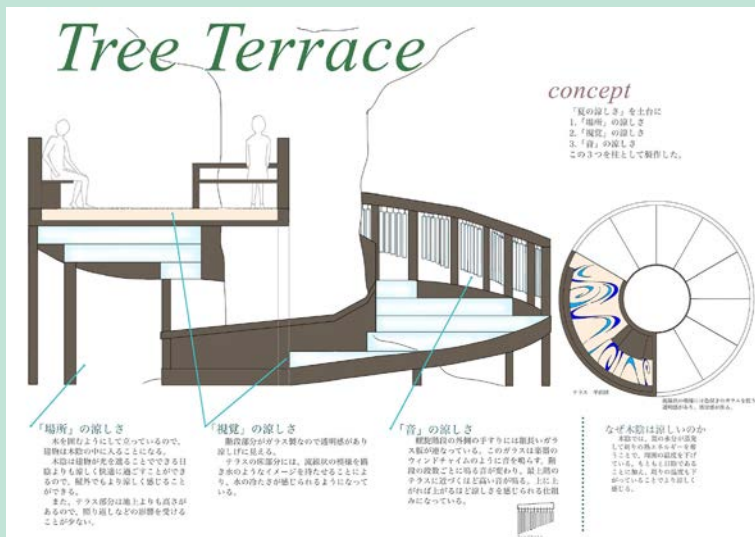
審査員コメント

視力検査表を帽子のリボンやひまわりの花びらで表現していて、斬新なアイデアですね。細かい仕掛けが考えられていて、大人も子供も楽しく視力検査ができそうです。ただ説明を読み込まないとなかなか理解できないので、コンペで伝えるということを踏まえてもう少しわかりやすい表現の工夫があっても良かったかもしれません。

【個人賞】

山下賞

共立女子大学 1年 谷村美咲さん



審査員コメント

明確に「場所」「視覚」「音」と3つの柱を立てたコンセプトが良いと思いました。視覚の涼しさのガラスの階段では、ガラス越しに見える環境も影響すると思います。また、ガラス以外にも金属や石など素材の使い分けの可能性もまだまだありそうです。

稲葉賞

共立女子大学 1年 川人千裕さん



審査員コメント

夏の照り付ける太陽を遮ってくれる木々の下に居場所ができ、そこに寛げる空間を考えています。大木の表現の濃淡がとても良く表現されています。ここに設置してある椅子のデザインをもう一工夫考えると良かったですね。

【個人賞】

石田賞

共立女子大学 1年 坂下むつみさん

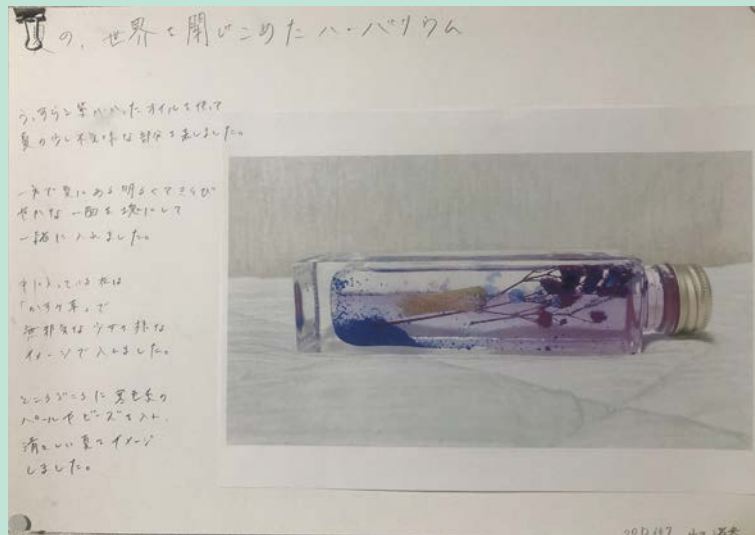


審査員コメント

かき氷の蜜の部分に、夏の様々なシーンを書き入れた表現は面白いと思います。ただ、もう一工夫あるといい作品になったのではないのでしょうか。例えば3本の蜜が花火、ひまわり、海の味の蜜でそれかけるとこのような氷になるというのはどうでしょう。

水川賞

共立女子大学 1年 山口渚央さん



審査員コメント

夏の「不気味」さと「明るくてきらびやかな部分」をかすみ草やビーズ等で表現し、ハーバリウムに封じ込めたという、とても斬新な発想の作品です。身近にある物を使ってイメージを表現させ、様々な想像を喚起する作品です。実物で見ると印象も違ったと思います。

【個人賞】

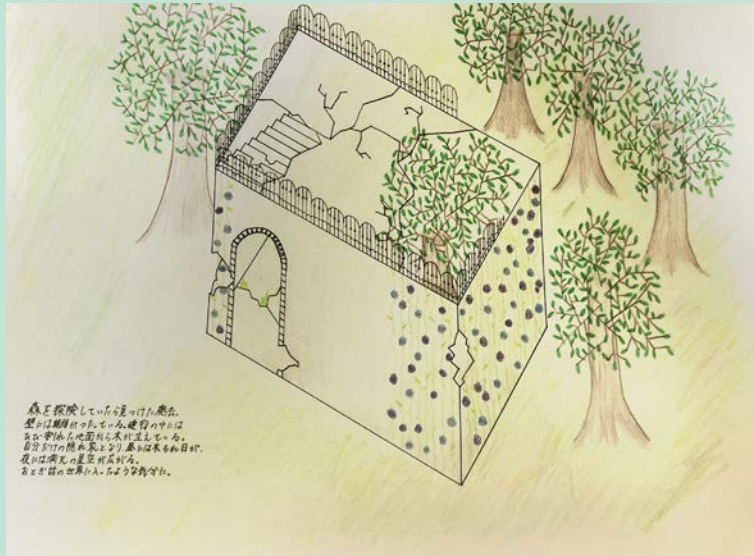
田中賞
共立女子大学 1年 利光沙都子さん



審査員コメント

夏の風物詩といえばかき氷ですが、女の子たちが存在しなくとも背景のブルーとかき氷だけで十分に伝わってきたようにも思えます。なにかメッセージ性もほしかったように思えます。

福田賞
共立女子大学 1年 押野珠夕さん



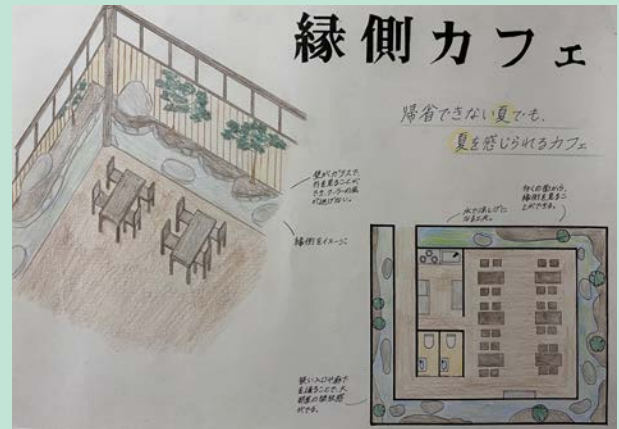
審査員コメント

最初に全体を見た中で印象に残った作品のひとつです。アクソメに描かれた建物は廃墟というよりは素敵なグラフィックに見えました。壁面につたう朝顔や木々の枝や葉並び、ヒビのリズムに柵のパターンが美しく仕上がっています。独自の世界観を感じるため、絵本のようなストーリーの前後が見たいと思いました。一枚の絵としてはもっと木が多いとより良かったです。

【全応募作品】



審査員コメント
アンフィテアトルム(円形劇場)を思わせるこの作品のアイデアは好感が持てます。地下に下がる階段部分や地下スペースの安全面への配慮など説明があると良いでしょう。地域商店街や消防機関、PTAが連携して家族が花火を経験できる場、そして夏以外にも交流の場として、地域活性の拠点となると良いですね。



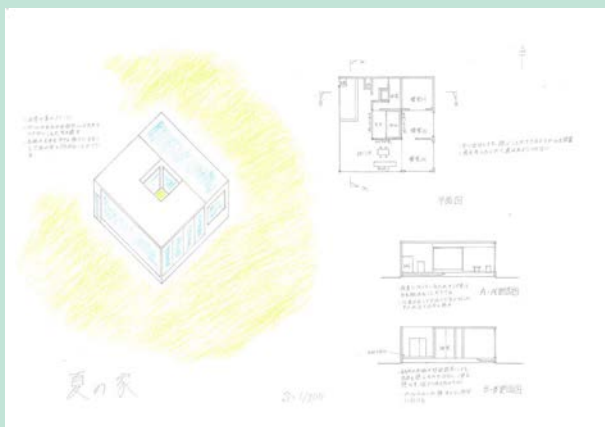
審査員コメント
静かなゆったりとした時間が流れていそうなカフェで好感が持てます。軒のある外部縁側や、廊下のような内部縁側を描けると、縁側らしさを経験できる場として分かりやすいと思います。夏に限らず、四季折々に庭や会話を楽しみながら過ごす交流の場となって良いと思います。



審査員コメント
半分割かれたトウモロコシが、夜空を堂々と一本飛んでいる作品は、絵本の一場面のような感じです。星空と花火、海を背景に、まるでロケットのようにトウモロコシが駆け上がり、物語を動かす存在とし想像を掻き立てられます。また、トウモロコシに描かれた花や風景は異様な雰囲気を感じます。細部まで描かれており、想像を喚起する作品ですが、デッサンをもっと練習してほしいと思います。



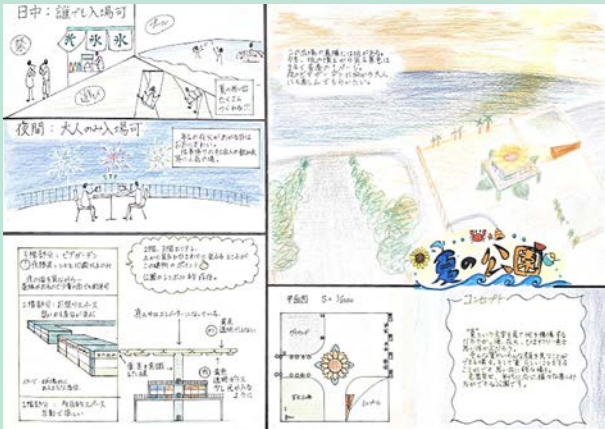
審査員コメント
自然との繋がりを意識したキッチンアイデアは良いと思います。自然と融合した建物の形や、空間、場づくり、設備、道具、家具などのあり方を意識できると良いと思います。人々がどのように過ごせるのか、どのような経験できるのか伝わるように表現すると良いでしょう。



審査員コメント
プールを囲む開放的な平屋のアイデアは良いと思います。湿気の多い日本では結露が心配ではありますが、壁面や扉を極力少なくして風を通す工夫や、夜空を眺められるなどの配慮により、光り輝く水面を囲みながら過ごす時間は癒されそうです。



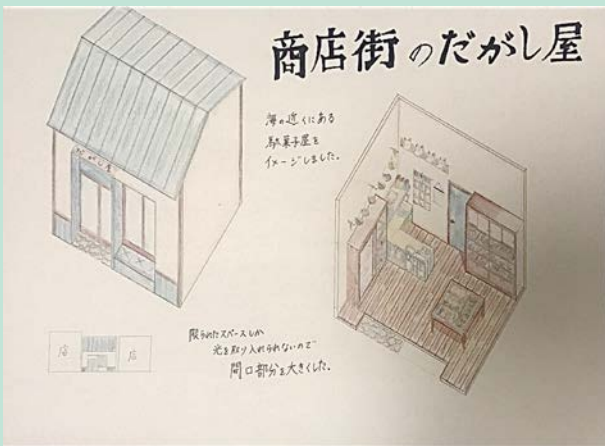
審査員コメント
日本の夏を象徴する打ち上げ花火の写真は好感が持てます。COVID-19の影響により、花火大会の多くが中止・延期されたため、この作品からは懐かしさや寂しさを感じられます。花火の写真だけでは、表現が少し直接過ぎます。一日も早く通常の生活に戻れるよう、メッセージを入れるなど、独自のアイデアがあると良いでしょう。



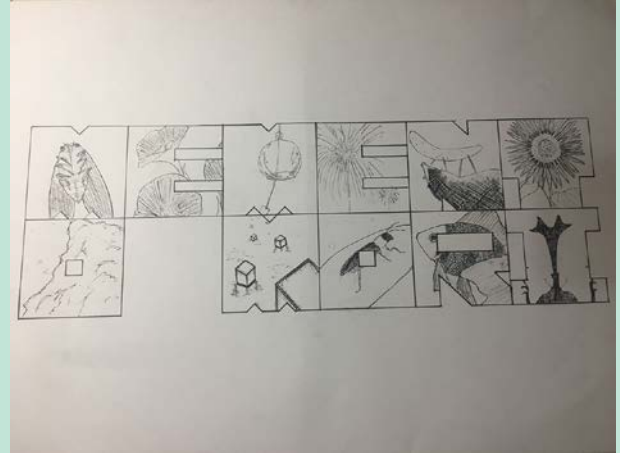
審査員コメント
 老若男女が夏を思い切り楽しめる公園は細部まで描かれ好感が持てます。COVID-19の影響により、2020年の夏に出来なかったことがいっぱい詰まっています。魅力的です。ウィルスとの共存時代に、夏を夏らしく思い切り楽しめる独自の公園のアイデアがあるとさらに良かったと思います。



審査員コメント
 日本の夏を象徴する海の家が細部まで描かれ好感が持てます。COVID-19の影響により、海の家も開設されず、異例の夏の家であったこの夏。この作品からは人が描かれないことで、その寂しさや夏の海で食べたかったメニューの懐かしさが感じられます。想像を喚起する作品ですが、デッサンをもっと練習してほしいと思います。



審査員コメント
 商店街の駄菓子屋は細部まで描かれ好感が持てます。限られたスペースに開口部分を広くとってありますが、子供達に限らず老若男女が集い交流できる場として、ちょっとしたベンチがあるなどのアイデアがあるとさらに良かったと思います。



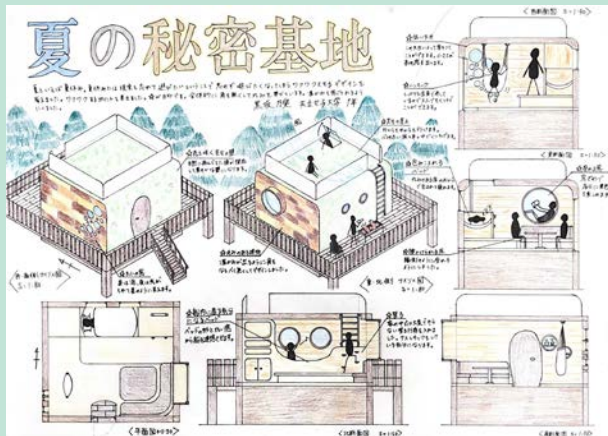
審査員コメント
 ラテン語のMEMENTO MORI(「死を想え」「自分がいつか必ず死ぬことを忘れるな」の意味)のレターに日本の夏を象徴する要素が描かれたこの作品は、大変好感が持てます。想像を喚起する作品ですが、改行やフォント、行間を調整するとさらに良かったと思います。



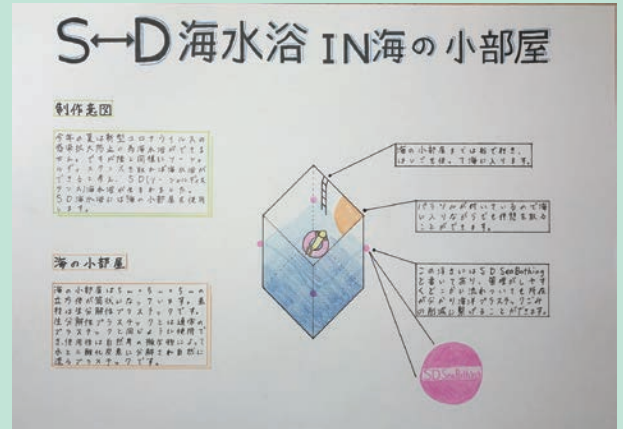
審査員コメント
 自然との繋がりを意識し、森の中に佇むドーム型の建物は、大変好感が持てます。建物の形や、窓などから、森の中で人がどのようにリラックスして過ごして欲しいか、想像を喚起する作品です。画面全体を使用して描かれていますが、少しごちゃついて見えます。レイアウトを微調整するとさらに良くなるでしょう。



審査員コメント
 書いてくれているように夏といえばキャンプですね。三角屋根のロッジなら子どももワクワクして喜ぶ事でしょう。そんな子どもの気持ちになれば、ロッジの中はどんな空間になっているのか気になります。中央にリビング、螺旋階段があったり2階はロフト風になっていたたり?そんなワクワクの内部を表現して欲しかったです。



審査員コメント
とても素晴らしいプレゼンテーションだと思います。計画も緻密でそれぞれの細かな特徴ももちろん説明が入り、細かく読み進めるとまるで建物の中を実際に訪れた感覚になりました。図面やタイトル表現もとても丁寧で、大変好感が持てます。コンペは第一印象が大切なので一番伝えたいコンセプトが最初に目に入り、作品に興味を持ってもらえるような表現が更に出来るように頑張りましょう。



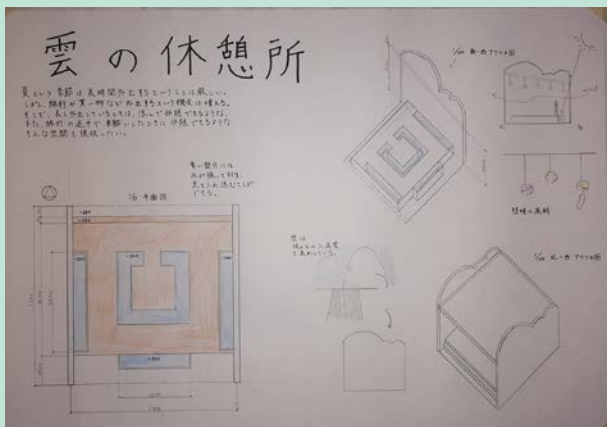
審査員コメント
とても興味深い提案です。広い海の中で生分解性プラスチックに囲まれた自分だけのプライベート海水浴、海の小屋屋。アイデアはとても良いですが、審査の対象は1枚のみだったので最初の1枚にせかく作った模型の写真を合成して乗せてくればより良く伝わったと思います。模型はよく制作出来ていると思います。



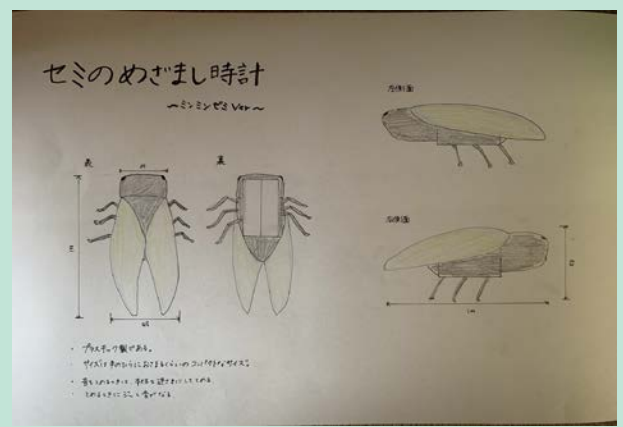
審査員コメント
夏を感じる空の写真がいっぱいで、まさに夏という感じですね。自分で撮影した写真なのだと思いますが、画面の中にどのように配置をするのが大きなポイントだと思います。夏の空は青く白い雲とのコントラストが美しく、またイナヒカリや夕焼けも美しいですね、その美しい夏の空を画面からはみ出すほどに表現してくれば良かったと思います。



審査員コメント
プレゼンテーションの画面構成がとても良いです。平面図、断面図、パースととても丁寧に表現できているので好感が持てます。キャンプハウスの一番の特徴はウッドデッキでしょうか？説明書きにある、テントの良さを取り入れた売りの部分はどの辺りになるのかな？その辺りのデザインコンセプトがもう少し見えると良かったです。



審査員コメント
夏の外出先でこんな休憩所があるとホッとしますね。小川に足を入れた時のように水が循環していると冷たさを感じて良さそうです。それに雲の壁面からミストが吹き出すなど更に涼める工夫があるとより良くなったと思います。冬場には温泉も流れて足湯になってもいいですね。人の絵がもっとあるとスケールが直感で伝わるので積極的に描くと良いでしょう。



審査員コメント
この作品はとても気に入りました。夏の目覚ましにぴったりで、ミンミンという音を止める際の音が「ジツ」という説明も思わず笑顔にさせてもらいました。こんな商品があったら楽しいですね。側面図のセミの表情は憎めない顔をしていて何か惹きつける魅力があります。もっと描き込んだ表現があって、詳細にこだわりがあればより良くなったと思います。



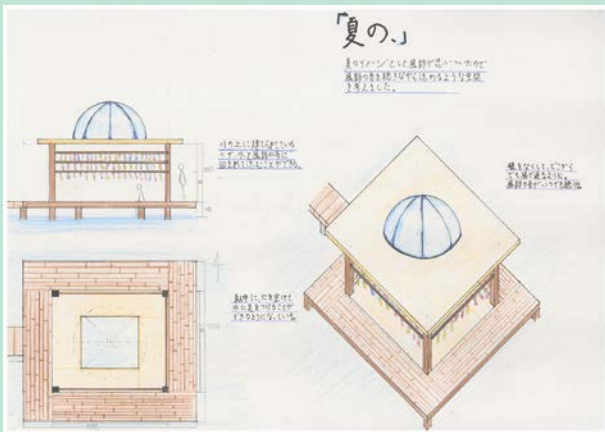
審査員コメント

水の流れる縁側を眺めながら、お茶やコーヒーを頂くという贅沢な時間ですね。錦鯉が泳いだり亀が甲羅干してたり、そんなどかな風景が見えるようです。丁寧に描けていますので好感が持てます。川の流れる位置が外周だけではなく、客席の方にも支流が来れば内側の席の人も楽しめますね。



審査員コメント

金魚から見た風景でしょうか、絵の狙いがとても面白いです。全てのトーンが薄いため多くの作品の中では印象が薄かったのですが、よく見れば見るほど味わい深さを感じます。丁寧な観察から生まれる細かな描写ができていて好感が持てます。少し間が抜けてしまっている部分もあるので、画面右下辺りを中心にトリミングするか全体の密度をあげるとより良くなったと思います。



審査員コメント

「夏の。」というテーマから風鈴をイメージして涼める空間にしたアイデアが素敵ですね。屋根の上のドームはどのような意図でしょうか？人の視線で内側から見たスケッチがあると提案の良さがもっと伝わると思います。



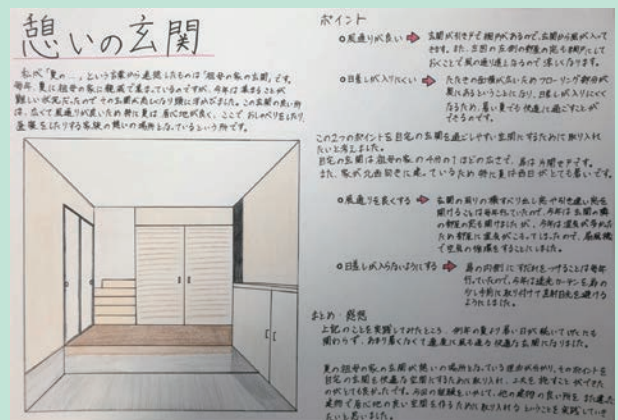
審査員コメント

瞳の中にある(写っている?)海と空の青さが清々しく気持ちが良いですね。瞳以外の彩度を落とすことで瞳の中の景色をじっと見つめるような雰囲気も出ているように感じました。ポスターデザインとして、コピーや文章などと絡めた表現にしても良いと思いました。



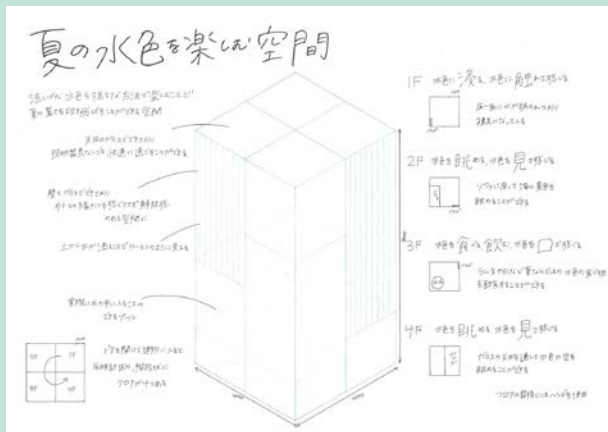
審査員コメント

「夏の音」として人を中心にしながら風鈴、花火、波をうまく構成しています。色彩も緑を基本にしながら差し色で赤が入るなどきれいです。この人物が音を聞いているのか?思い出しているのか?どのような感情なのか?その辺りが伝わると良いと思います。



審査員コメント

「祖母の家の玄関」での思い出から、居心地の良さについて考察し、その内容を自宅で模擬して実験したことがコンパクトにまとめられてよく理解できました。テーマとして面白いですね。自宅での実験の絵も入れて比較図にするなどわかりやすく魅力的な表現にすることで、良さがもっと伝わると思います。



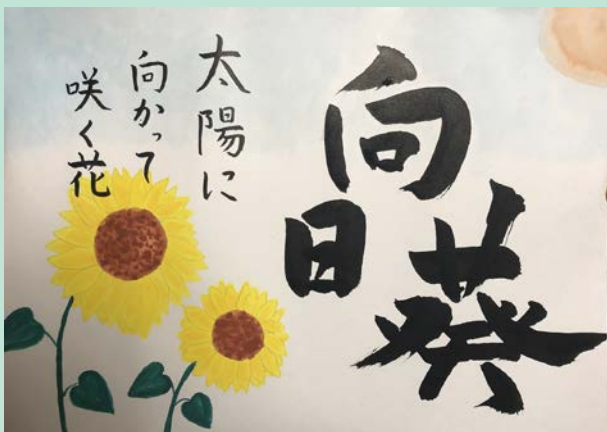
審査員コメント

夏の色→水色をテーマに色を楽しむ空間の提案というコンセプトが楽しいです。どのような場所に建っているのか？夏だけの限定的な使い方なのか？など設定すると良いと思います。また、内装が重要な提案なので、各フロアで人が体験しているシーンスケッチがあると良さが伝わります。



審査員コメント

夏祭りの金魚すくいの一コマといった絵が良いですね。隅の影の部分に集まる金魚は追い詰められてなのか？暑い日差しから逃げるためか？穴のあいた金魚すくいのボーイなど、色々と想像できます。どのような想いで描いたのか伝わるように構成も考えると良いと思います。



審査員コメント

「向日葵」の題字が大きく書かれていて、まさに向日葵のようで良いと思いました。文字よりも絵が弱く感じました。太陽の方を向いている勢いや方向性をしっかりと出したり、題字を大きく書いてその中に向日葵が描かれているなど、向日葵らしさを表現する方法もまだまだたくさん考えられます。



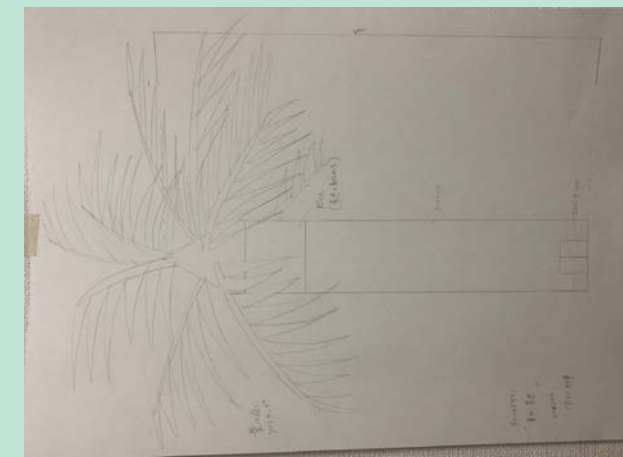
審査員コメント

住宅街の路地から見える広場。そこに建っている小屋でしょうか？夏に散歩して新しい場所を見つけた時の感覚を思い出しました。この絵は何を表現しているのか？伝えたいのか？など絵だけで相手に伝えるために構図や描かれるもののディテールなど重要だと思います。



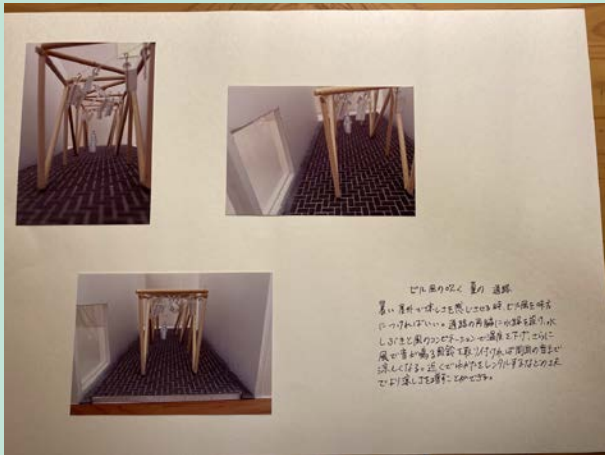
審査員コメント

ブロック状のものに3種類の花がランダムに配置されたオブジェのような不思議なスケッチです。パースをあえて崩しているのか、このような形の花器なのか？実際に立体と生花でこのオブジェを作ってみても良いと思いました。



審査員コメント

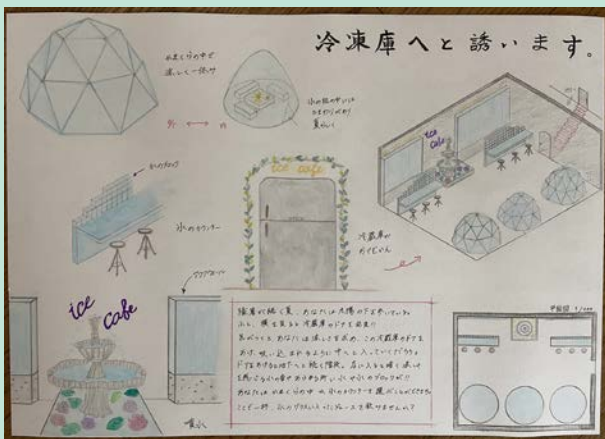
椰子の木を模した建物でしょうか？高さが6mでエレベーターがついている、ライトアップ、景色を眺めるのはわかりましたが寸法や詳細など不明な点が多いです。詳細説明や、着彩など、相手に伝えるための表現を考えましょう。



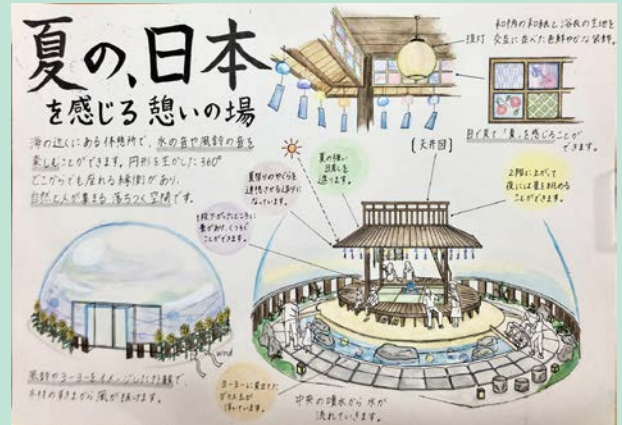
審査員コメント
 ビル風を利用した着目点は面白く評価できます。
 水路と水しぶきと風のコンビネーションについてもう少し具体的な仕掛けの提案が必要と思いました。建築全体の形についてのコンセプトがあれば良かったと思います。



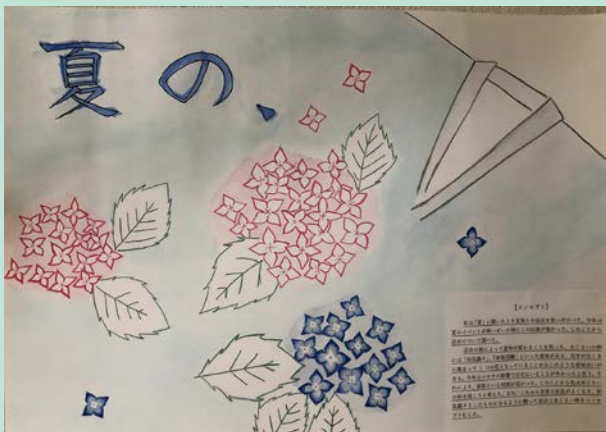
審査員コメント
 ひまわりと麦わら帽子の少女は、夏のイメージを分かりやすく伝えています。更に、テーマ性・デザイン性を加えることによりインパクトを強く訴える事が出来たと思います。



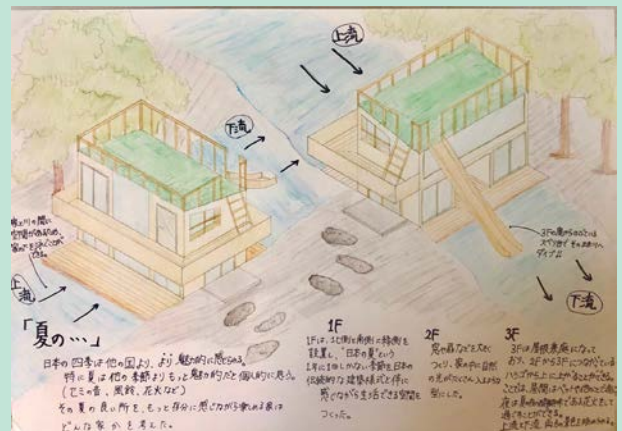
審査員コメント
 地下にある寒そうなぐらいの店舗の提案は面白く良いアイデアだと思います。1階入り口の冷蔵庫扉だけでもインパクトがあります。外から分からない意外性が高い店舗インテリアの可能性を期待出来ます。



審査員コメント
 外部と内部のイメージの違いを狙った案だと思います。内部の温度管理が下部の風の通り抜けだけだと厳しいので、もう一歩、換気方法や室内温度の制御方法の提案が必要です。



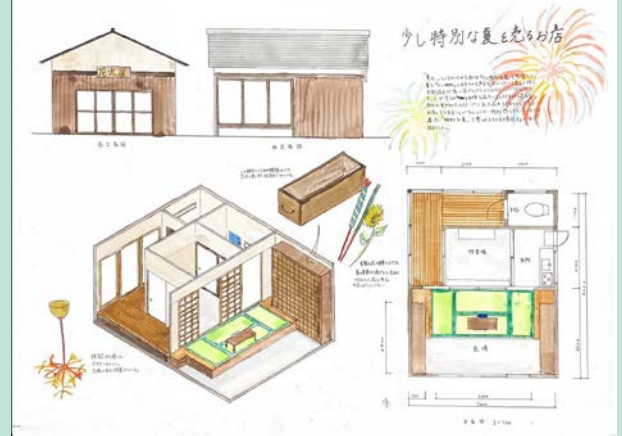
審査員コメント
 夏と浴衣、柄の意味を捉えた点は評価できる。コンセプト説明が小さくひと目では分かり辛いので表現的な工夫が必要かと思われる。



審査員コメント
 川をまたぐ家として、周囲の状況も含めて描かれているので分かりやすい。屋上を庭として利用するならフラットルーフの方が良かったのではないかとと思う。



審査員コメント
夏のイメージを画面に多く散りばめている作品で構図を斜めで構成することにより動きや活気が出ている。女子高校生の弾けるような楽しみが感じ取れる作品である。



審査員コメント
夏の風物の花火を売る独立な店です。昭和感があるレトロなデザインです。平面やアクソメは真面目に寸法を書いています。木造と思われるので900モジュールを採用した方が良かったと思います。水彩の練り方を練習しましょう。



審査員コメント
夏のお祭りを取り上げた作品で、絵の構成も色使いも夜店の雰囲気がよく出ている。全体にインパクトを訴える事が良くできている。



審査員コメント
自分の部屋の夏の感じを描いたものか？夏のテーマ性が感じられない。もう少しテーマ性やデザイン性を訴えることを考えられると良い。



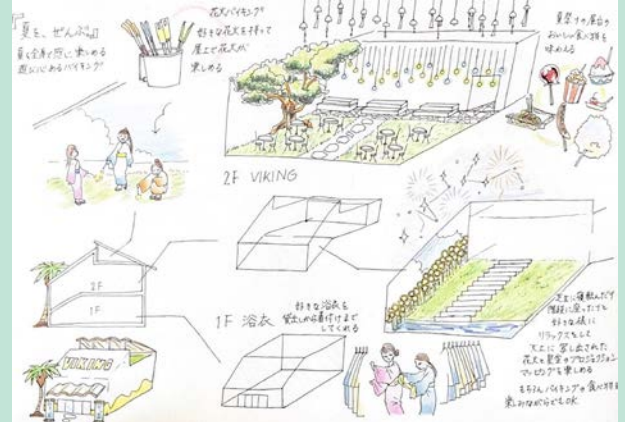
審査員コメント
夏雲の感じが良く描けている。理屈抜きに夏の空気感が伝わる作品でインパクトもある。空の奥行き感もあり雲が動いている様にも見え、見ていて飽きない作品である。



審査員コメント
夏の思い出の絵と思われる。夏の風景の感じは出ているが、他人に訴えるテーマ性やインパクト性がもう少し感じられる工夫が欲しい。



審査員コメント
夏の「梅雨」をイメージし、そこから傘と雨の粒を表現した作品です。雨のしずくのひとつひとつが立体的で、とても良く描かれています。それに対し傘の表現が単純で平面的なのが残念です。



審査員コメント
浴衣や花火、夏祭りというキーワードをコンセプトに、女性らしい観点で考えられた設計案です。それぞれの階ごとの空間の変化があり、場所の使われ方なども詳細に考えられています。もう少し開口部の工夫、周りの環境とのつながりも考えてみてください。



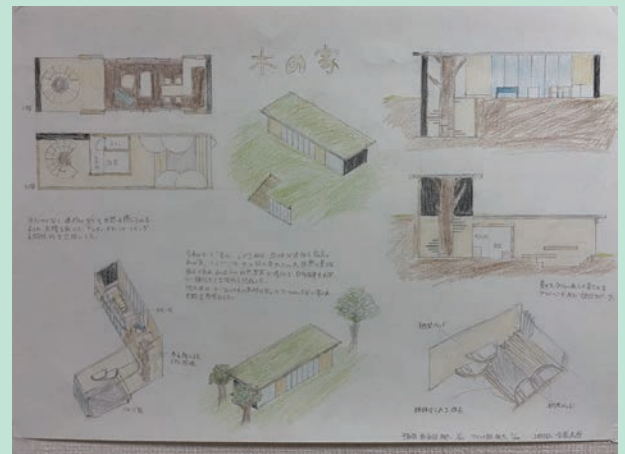
審査員コメント
夏のお祭りをイメージしたものでしょうか。画面いっぱいに描かれており、力強い迫力があります。遊動感があり、色の使い方、対比が美しく、とても好感の持てる作品です。



審査員コメント
夏の花火、原っぱが色鉛筆で描かれていて、この中でも大きな月が印象的です。絵のタッチが単調なので、微かな色の变化や濃淡、また細かい線を塗り重ねることで、もう少し効果的に表現などの工夫があったら良かったです。



審査員コメント
日差しを浴びているたくさんのひまわりの黄色と空の青がコントラストになり、作品全体の色彩が美しく、パッと目を引く作品です。その中でも風車がポイントになっています。せっかくの風車なので、風車本体のデザインを丁寧に仕上げると良かったと思います。



審査員コメント
自然と一体化した環境に配慮した設計案です。特に1階部分が土で覆われていて、大地と融合している形状は、よく考えられています。アイデアが詰まった設計案ですので、スケッチ力と表現力を高めるとより良い作品に仕上がります。



審査員コメント
「夏のひととき」と題して、スイカとジュースが描かれています。スイカの種や食べかす、氷の表現など詳細な部分まで、よく描かれています。また、鮮やかな色彩の壁の色と茶色のテーブルのコントラストが、スイカの赤を引き立たせています。



審査員コメント
夏の訪れとして金魚をモチーフとし、様々な夏らしい模様とともに表現されています。浴衣の模様のような日本独特の色彩、線の表情が情緒的で美しいです。ただ金魚がモノトーンでこの作品の中に埋もれてしまっているのが残念です。もう少し金魚の色彩、表現方法も考えると良かったかもしれません。



審査員コメント
画面いっぱいに子供の顔、そしてその瞳の中に夏の景色が映し出されて、あどけない表情と共に、子供の夏休みの思い出が滲み出ているほっこりさせてくれる作品です。瞳の中の表現は、単なる夏のイメージだけではなく、子供と直結する遊び等の表現でも面白かったかもしれません。



審査員コメント
遠くに見える、輝く海や空のもとに、今年は残念ながら近づくことが出来ませんでした。10代の若いみなさんは、せっかくの夏の思い出が全く思っていたものと違うものになってしまいましたね。その心の内をよく表現しています。まさに、2020年の「夏の…」に対する思いなのでしょう。早く平らかな世の中になって欲しいと祈るばかりです。



審査員コメント
海も空も同じセルリアンブルー系の配色でまとめています。少し色味に変化させることでその違いを表現できていると思います。そしてとても透明感があります。雲の色面も単純化して、全体にグラフィカルにまとめようとしていることが伝わってきます。



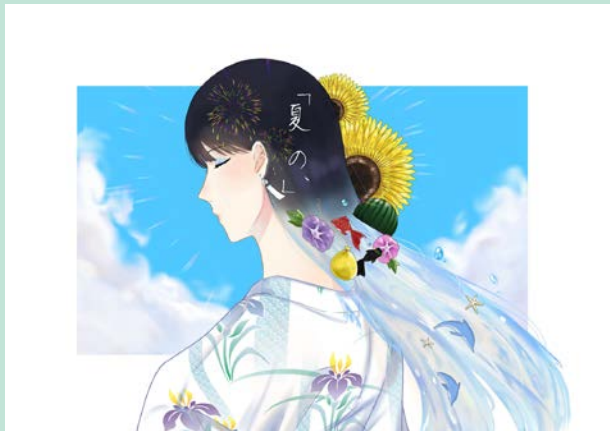
審査員コメント
夏らしい湧き立つような雲の表現ですが、雲と海の絵具のタッチが分けられて良いと思いました。雲の筆跡が残るような描き方で常に形をかえ躍動している様子と、穏やかな海の鏡のような表現が夏らしいです。



審査員コメント
画面からはみ出してどこまでも朝顔の咲く空間が広がっていく風景を感じさせます。朝顔の色も微妙に青と紫で描き分けていますね。もっと遠景まで無限に続くような表現をすると、空間の広がり、朝顔が咲くという時間の表現を合わせて描けたかもしれません。



審査員コメント
色違いのクリームソーダが三つ並び、どれを選ぶか迷ってしまいますね。グラスの向こうに咲く花火とグラスの中で弾ける気泡が呼応しているともいます。アイスクリームの上にある風景は、グラスを見つめる人の心象風景でしょうか。



審査員コメント
横顔の女性が美しく描かれています。目を瞑り何を思うのでしょうか。女性の黒髪に花火が咲いて、そこから朝顔や金魚が流れて、さらに流れが増してイルカが跳ねていくということで、彼女の心象風景を思わせます。外的環境と内面を同時に表現している二重構造の作品になっていると思います。



審査員コメント
若いカップルが肩を寄せ合って見上げる花火、まさに夏の光景ですね。周りにだれも他の人が描かれていませんが、花火が上がっている間は、二人だけの時間なのかもしれません。そのことを表現するために、少し地面が湾曲するように描かれていますし、左右対象の構図になっているのでしょうか。



審査員コメント
「サマーバーゲン」のポスターとして、楽しげですし、夏らしく涼やかな世界が表現されています。毎年夏が来れば「さあ、バーゲンに行こう!」と思われているのだと思います。もしかすると、例年楽しみにしていたバーゲンに今年は行けない、という思いをこの作品に込めたのかなと思いました。



審査員コメント
夏野菜のみずみずしさとはち切れそうな生命力が伝わってきます。ビビットな色のアクリル絵の具を使用したことによる効果だと思います。構図が大胆で、色面構成としても面白いです。



審査員コメント
夏の夜空とそこを流れるそうめんということで、爽やかな印象を受けます。色の選択も涼やかな印象です。天の川と流れるそうめんできずく夏という時の流れも表現されたのでしょうか。



審査員コメント
夏に関連したものの描き方は面白いと思います。また、絵もよく描けていると思いますが、それぞれの関連がもっとわかりやすく表現されていれば、よかったです。



審査員コメント
夏祭りを題材にしたのはわかりますが、少し寂しいのではないかと思います。もし、祭りの後を寂しさを表現したいのであれば、朝の表現にする方法もあったのではないのでしょうか。



審査員コメント
表現しようとした意図はなんとなくわかりますが、雲の表現(入道雲?)や庭の表現を工夫したほうが夏の雰囲気伝わったと思います。また、部屋の中で昼寝している人を描いても良かったのではないのでしょうか。



審査員コメント
季節が夏だということはわかりますが、左上の金魚すくい?と中央の絵との関係が良くわかりません。ただ、絵の表現はうまいと思います。



審査員コメント
暗い二人のシルエットと花火との関係が良くわかりません。例えば二人の後ろの花火を描くといった方法もあったのではないのでしょうか。



審査員コメント
猫は上手く描けていると思いますが、夏との関係が良くわかりません。例えば猫の瞳に花火が映っているといった表現もあったのではないのでしょうか。



審査員コメント
夏にちなんだものを粘土?や紙で表現したのは面白いと思います。それぞれの関係がもっとわかりやすく表現されていればよかったですと思います。



審査員コメント
夏に關係するものとして、蚊取り線香はわかりますが、周りに描かれているものと夏との關係が良くわかりません。蚊取り線香も煙が出ていた方が良かったのではないのでしょうか。



審査員コメント
夏とアイスクリームはわかりますが、アイスクリーム自体の表現や背景をもっと工夫したらよかったですのではないのでしょうか。



審査員コメント
入道雲と飛行機というとてもシンプルかつ大胆な表現ですが、そうであるからこそ夏の記憶を思い起こさせるのかもしれない。



審査員コメント
GarageBandを初めて使って音楽を作ったという割にはよく出来ているのではないのでしょうか。ただ、映像を撮るのであればきちんとフレームを決めて、単なるループでは無く、時折真つ青な空の風景が入るなどセンスが必要だと思います。



審査員コメント

この作品がコンペテーマに対し、何を伝えようとしているのか、まったく分かりません。見る相手に対して何かを伝えるのであれば、もう少し補足が必要では無いでしょうか。



審査員コメント

これは写真の撮り方がマイナスに影響しています。夏らしい透明感を伝えたいのであれば、背景を海や明るい砂浜にするといった細部まで緻密に考えることがデザインにおいて大切ではないでしょうか。



審査員コメント

断片的に夏のイメージは伝わってくるのですが、神秘的な感じの方が強く出ており、写真で丁寧に表現したものが弱くなっています。すべて写真で覆い尽くしてもよかったのではないのでしょうか。



審査員コメント

夏の風物詩である花火とそれを見る二人のシーン、クレヨンを使う表現はよいとおもうのですが、巷にありふれていて、なかなか心に響きにくいと思います。



審査員コメント

夏の風物詩をたくさん描きすぎて、欲張りすぎというイメージが強いです。入道雲?がかき氷になっていてシロップがかかっているほうがインパクト大ではないのでしょうか。



審査員コメント

音楽の世界から夏をイメージして、自分の部屋でバーチャルな夏を楽しむというのは、コロナ禍の今夏においては考えられることです。もう少し表現方法を変えると面白かったかもしれません。



審査員コメント
切り絵の表現はとて美しくよいと思うのですが、花火の表現や水への写り込みも考えるとより美しい作品になったかもしれません。



審査員コメント
発想は面白いと思います。ただシンプルなモバイル自体が激しく動いたり、ゆっくりと動いたりすることでそれらの風を視覚的に感じるのではないかなと思うのですが、作りこみすぎている感が拭えません。いろいろなモバイルを見てみましょう。



審査員コメント
夏の入道雲が氷になっているというアイデアは良いと思いますし、とてもよく描けています。ただ雲の表情を考えるとむしろソフトクリームの方が雲はあっているかもしれません。しかし、最近のインスタなどで良く見かける手法なのが残念です。



審査員コメント
あなたがイメージする夏のスケッチはとても好感が持てます。ピンナップボードへ貼るという荷に情を表現したのだと思いますが、全体でも一枚の絵です。例えば12の窓の風景と称して大小様々な窓にレイアウトするなど、レイアウトの方法を工夫すると絵が生きてくると思います。



審査員コメント
これはプールに入る瞬間でしょうか。夏の水のキラキラ感と入ったあとの気持ち良さが伝わってくるようでよく表現されています。



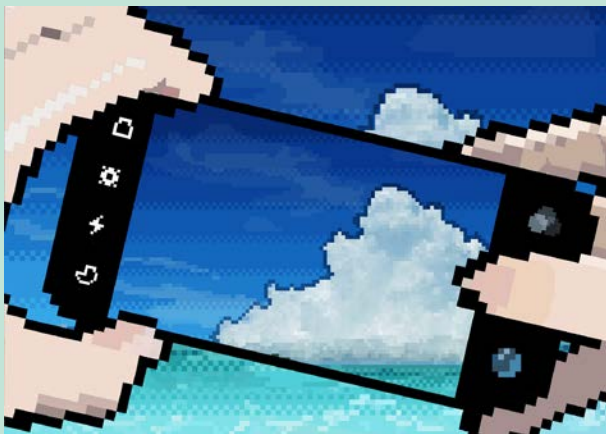
審査員コメント
まさに夏は太陽の季節です。ギラギラと大地を焦がす太陽とは違いどこかホッとするような太陽です。夏というより秋を感じます。もう少しギラギラ感を表現した方が今回のテーマに合ったと思います。



審査員コメント
夏の飲み物に花火という組み合わせは夏を感じます。ただ、全体的に色の彩度が暗く感じるのが残念です。夏の飲み物は氷による結露でグラスに出る水滴が清涼感を増長します。それを表現しつつ彩度をあげたらもっと夏を感じたと思います。



審査員コメント
水の色と濃い緑には夏を感じます。ただ、リアリティが感じられません。スタート台、プールの水の収まりなどプールがどのようにできているかはしっかり見て理解して表現するようにしてください。



審査員コメント
ドットの集合によるデジタル的な表現は面白い。画面内と肉眼では微妙に色味や明暗が変わるはず。画面内と画面外の表現を変えるとデジタル感が出ます。



審査員コメント
夏のたまらない暑さと湿気による辛さが人にのしかかっているのがよく表現されています。ピンク系や暗めの暖色その辛さを引き出しています。しかしその中でも夏の爽やかさはあります。寒色系も混じると辛い中にもホッとした感じが出たのではと思います。



審査員コメント
扇風機の風、テレビの入室雲と海と空、全てが管理された人工的な環境の中の夏という表現は現代を象徴していると思います。それが地球温暖化を生み出していることへのアンチテーゼでしょうか。そう考えると興味深い作品です。

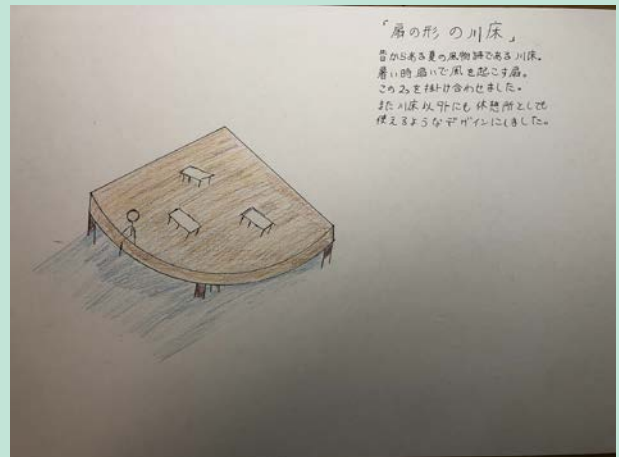


審査員コメント
かき氷(シャーベット)が融合した海で、サーフィングやフライボードをして楽しんでいる様子が描かれているこの作品は、まるで絵本の世界に迷い込んだように可愛らしく、想像がかきたてられます。構成はオプティカルイリュージョンのようで思わずずっと笑ってしまう魅力があり、良いと思いました。



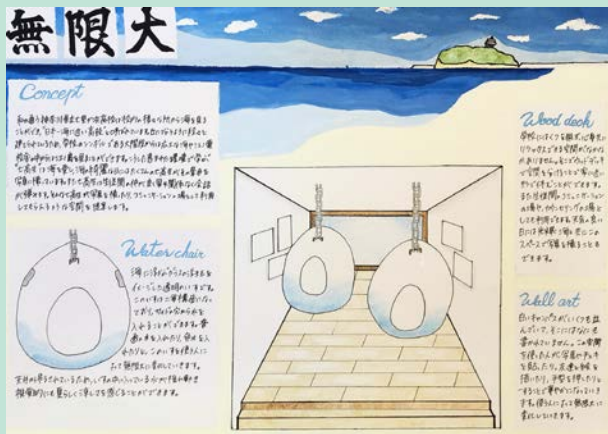
審査員コメント

水族館とカフェを掛け合わせた楽しい提案だと思いました。海の中にいるような感覚をゼリー状の素材を使った内装で体験できるアイデアも面白いです。ゼリー素材はどのようなものかどうやって安定させて使うのかなどのアイデアがあると現実的な提案になります。また、せっかくの作品が影が暗いです。写真をきれいに撮るなど細部にも気を配ると良いです。



審査員コメント

川床をテーマにした着眼点は良いと思います。置かれる周りの状況等、建築的にもう少し詳しいプレゼンが必要です。パース表現を練習して下さい。数個の扇型の組み合わせで動きを出すような工夫もあるのかと思います。



審査員コメント

清涼感を感じるデザインで、七里ヶ浜というロケーションにあっているのではないかと思います。しかし、その清涼感を打ち消しているのが吊っているチェーンです。そのあたりまでデザインすることが、コンセプトを貫くために必要ではないでしょうか。



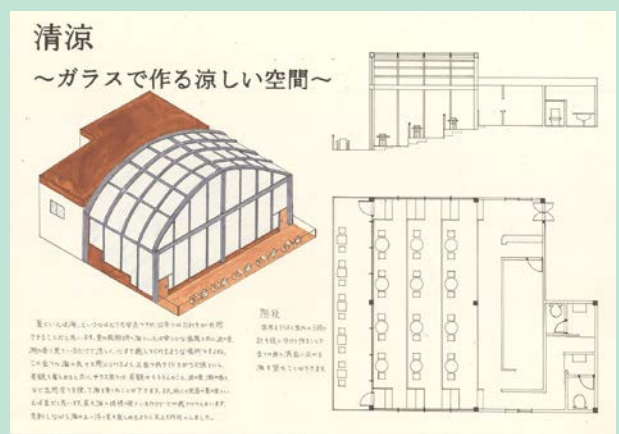
審査員コメント

あなたは夏のさわやかさを何で感じますか。赤城山は澄み切った空と緑そして涼しい風だと思います。そう思うとレストハウスはもっと小さく(なくても良いかも)湖と山と空を爽やかに描いた方が伝わったと思います。



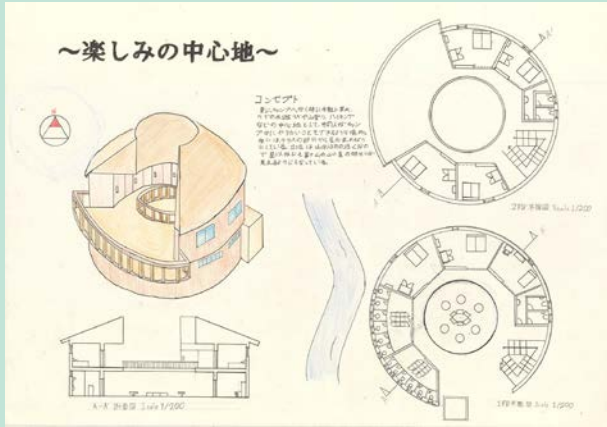
審査員コメント

かき氷にナタデココを入れたスイーツは台湾や香港でよく見かけますね。新食感の「ナタ氷」是非食べて見たいです。「ナタ氷」商品CMの一場面かのように画面全体を大きく使い、インパクト強く描かれているところが良いです。どんなCM音楽なのだろうかと想像がかきたてられます。静止作品としては、一見すると何が描かれているのかわからないところが残念です。



審査員コメント

日本の夏のイメージから海や星空の景観を楽しむ建物の提案にしたというところが楽しいですね。この建物の用途は？どこに建てられるのか？など想定して考えるとより納得できると思います。また、清涼というタイトルですが、夏にガラス張りの空間は暑すぎるので、涼くさせる工夫が必要です。たくさんのエネルギーを必要とせず、景観を楽しむアイデアがあると良いと思います。



審査員コメント
夏の過ごし方としてのキャンプの場の在り方を提案しています。ただせっかくのキャンプ場で小川も近くを流れているようですので、もう少し土地の特徴を考慮し、この敷地の環境まで含めて、どういった使われ方ができるのか再考してみてください。また、パースの書き方も練習してみてください。



審査員コメント
温暖化対応のための自然エネルギー対応の地域施設は時代性も反映した提案として高く評価できます。壁面緑化やグリーンカーテンについても良く調べている事がわかります。内部の家具のスケール感をもう少し大きくするとよいと思います。



審査員コメント
四周を縁側で囲われた古民家、こんなところで夏の午後を過ごしたいですね。深い軒で日差しが遮られて、そこに風が流れていく。そこのんびり冷たいものをとりながら何をしましょうか。その風景がより伝わるよう、建物と周辺の関係が伝わるような断面が描かれていると良かったかもしれません。